



2020年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月28日

上場会社名 テクノアルファ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3089 URL https://www.technoalpha.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー (氏名) 前田 資之 (TEL) 03-5745-9722
 定時株主総会開催予定日 2021年2月25日 配当支払開始予定日 2021年2月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年2月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期の連結業績 (2019年12月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期	2,329	△31.9	△60	—	△2	—	△5	—
2019年11月期	3,422	△4.5	262	△0.6	300	8.3	224	25.9

(注) 包括利益 2020年11月期 △10百万円(—%) 2019年11月期 228百万円(32.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年11月期	△3.08	—	△0.4	△0.1	△2.6
2019年11月期	127.20	—	15.9	13.7	7.7

(参考) 持分法投資損益 2020年11月期 ー百万円 2019年11月期 ー百万円

潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期	2,167	1,438	66.4	814.44
2019年11月期	2,230	1,501	67.3	850.22

(参考) 自己資本 2020年11月期 1,438百万円 2019年11月期 1,501百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年11月期	350	15	45	750
2019年11月期	212	△9	△99	338

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00	52	23.6	3.8
2020年11月期	—	0.00	—	25.00	25.00	44	—	3.0
2021年11月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		—	

3. 2021年11月期の連結業績予想 (2020年12月1日～2021年11月30日)

2021年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難なため、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期	2,316,000株	2019年11月期	2,316,000株
② 期末自己株式数	2020年11月期	550,184株	2019年11月期	550,184株
③ 期中平均株式数	2020年11月期	1,765,816株	2019年11月期	1,765,868株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年11月期の個別業績（2019年12月1日～2020年11月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期	1,806	△31.5	10	△94.2	23	△89.3	12	△92.7
2019年11月期	2,635	△6.2	188	△22.1	222	△11.6	171	19.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年11月期	7.07		—					
2019年11月期	96.92		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年11月期	1,748		1,231		70.4		697.16	
2019年11月期	1,868		1,276		68.3		722.80	

(参考) 自己資本 2020年11月期 1,231百万円 2019年11月期 1,276百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
4. その他	16
(1) 仕入、受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、世界的に新型コロナウイルスによる先行きの不透明感が継続する中、当社グループは、可能な限りの在宅勤務体制を取り、お客様への商品・サービスの供給継続に努めるとともに、対面での営業活動が制限される中、オンラインでの営業活動を推進し、主な課題である既存ビジネスの強化と共に、新たな商材・ビジネスの開拓、自社製品の開発・販売の強化、営業体制の強化およびサイエンス事業の再構築に取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は2,329,608千円(前連結会計年度比31.9%減)、営業損失は60,314千円(前連結会計年度は、262,275千円の営業利益)、経常損失は2,730千円(前連結会計年度は、300,664千円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失は5,435千円(前連結会計年度は、224,614千円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① エレクトロニクス事業

当事業においては、特に新規商材・ビジネスの開拓および当社製装置を含む製造ライン向け装置一式の一括提案・販売の強化に注力しております。当連結会計年度においては、新規商材・ビジネスの開拓は徐々に進んでおりますが、当社製装置を含む製造ライン向け装置一式での販売が、見込み案件の実施予定時期の延期等により低調に推移いたしました。また、既存ビジネスについては、商材により好不調はあるものの、比較的大型の装置類の受注・販売が低調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は1,180,147千円(前連結会計年度比41.7%減)、営業利益は3,761千円(前連結会計年度比98.2%減)となりました。

② マリン・環境機器事業

当事業においては、ライフボートおよびボートダビットの販売強化に加え、新たな主力商材として、海外メーカー製船用クレーン等の甲板機器の販売強化に注力しております。これらの船用機器については、受注から検収までの期間が長く、当連結会計年度においては、海外メーカー製船用クレーンを含む前連結会計年度以前に受注した船用機器を予定どおりに販売いたしました。

これらの結果、売上高は467,905千円(前連結会計年度比3.4%増)、営業利益は102,862千円(前連結会計年度比32.3%増)となりました。

③ S I 事業

当事業においては、特にASEAN諸国における計測・制御システムのインテグレーションサービスの営業の強化およびプログラミング教育分野の開拓に注力しております。当連結会計年度においては、ASEAN諸国におけるシステムインテグレーション関連ビジネスは堅調に成長しつつあるものの、国内においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業活動の制限、案件の延期・凍結等によりシステムインテグレーションサービスが低調に推移致しました。また、プログラミング教育分野の開拓については、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、当初の対面を前提としたスキームの見直しなど、ビジネスモデルの再構築および基盤の整備を進めております。

これらの結果、売上高は523,279千円(前連結会計年度比29.7%減)、営業損失は71,213千円(前連結会計年度は、75,632千円の営業利益)となりました。

④ サイエンス事業

当事業においては、自社製品、国内メーカー製計測機器および中古機器の販売とともに、特に海外メーカー製イメージング関連機器の開拓および販売強化に注力しております。当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業活動の制限、国際渡航制限による輸入商品の検収の後ろ倒しなどがあったものの、海外メーカー製イメージング関連機器の開拓および販売が順調に進みました。

これらの結果、売上高は158,276千円(前連結会計年度比21.3%減)、営業利益は7,830千円(前連結会計年度は、1,930千円の営業損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は2,167,309千円(前連結会計年度末比2.8%減)となりました。

当連結会計年度末における自己資本比率は66.4%(前連結会計年度末比0.9ポイント減)となり、当連結会計年度末における1株当たり純資産額は814円44銭となりました。

資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当連結会計年度末の総資産は、2,167,309千円(前連結会計年度末比62,915千円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金の増加411,224千円、電子記録債権の増加31,928千円および前渡金の増加52,254千円の一方で売掛金の減少527,491千円、仕掛品の減少34,765千円およびその他流動資産の増加39,826千円などによる流動資産の減少28,780千円ならびに有形固定資産の減少12,072千円、無形固定資産の減少4,960千円および投資その他の資産の減少17,102千円による固定資産の減少34,135千円によるものであります。

② 負債

当連結会計年度末の負債合計は、729,151千円(前連結会計年度末比267千円の増加)となりました。これは主に、未払法人税等の減少30,274千円およびその他流動資産の減少77,960千円などによる流動負債の減少112,027千円一方で、長期借入金の増加100,000千円および役員退職慰労引当金の増加10,520千円などによる固定負債の増加112,295千円によるものであります。

③ 純資産

当連結会計年度末における純資産は1,438,157千円(前連結会計年度末比63,183千円の減少)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上および配当金の支払による利益剰余金の減少58,409千円ならびにその他の包括利益累計額の減少4,773千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、750,129千円(前連結会計年度末比411,224千円の増加)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、350,314千円の収入(前連結会計年度は、212,014千円の収入)となりました。これは、主な支出要因として税金等調整前当期純損失3,030千円の計上、たな卸資産の増加34,081千円、未払金の減少17,601千円および未払消費税等の減少48,742千円などがあった一方で、主な収入要因として売上債権の減少515,456千円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、15,709千円の収入(前連結会計年度は、9,917千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9,229千円および保険積立金の積立による支出12,269千円一方で、投資有価証券の売却による収入10,050千円および保険積立金の解約による収入29,100千円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、45,200千円の収入(前連結会計年度は99,560千円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払による支出53,000千円一方で、長期借入れによる収入100,000千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

エレクトロニクス事業においては、特に新規商材・ビジネスの開拓および育成に注力すると共に、当社製装置を含む製造ライン向け装置一式の一括提案・販売に注力いたします。マリン・環境機器事業においては、特に新商材である海外メーカー製船用クレーンなど甲板機器の販売強化に注力いたします。S I 事業においては、国内外における計測・制御システムインテグレーションサービスの営業体制の強化を進めると共に、プログラミング教育ビジネスの拡大に注力いたします。サイエンス事業においては、自社製品、国内メーカー製計測機器および中古機器の販売に加え、特に海外メーカー製イメージング関連機器の開拓・販売に注力いたします。

2021年11月期の連結業績予想については、業績への影響が大きいエレクトロニクス事業における主要商材が製造装置であり、顧客の設備投資状況により業績が大きく変動するため、合理的な予想が困難であり、開示しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性等を考慮して日本基準を採用しております。国際会計基準の適用については、国内外の諸情勢を踏まえ、対応を検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	338,904	750,129
受取手形	46,112	27,844
電子記録債権	13,414	45,342
売掛金	899,183	371,691
商品	173,359	189,870
仕掛品	84,800	50,035
前渡金	70,266	122,521
その他	34,777	74,603
貸倒引当金	△84	△84
流動資産合計	1,660,734	1,631,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	136,972	137,701
減価償却累計額	△73,843	△80,119
建物及び構築物 (純額)	63,129	57,582
機械装置及び運搬具	67,858	71,506
減価償却累計額	△34,872	△44,697
機械装置及び運搬具 (純額)	32,986	26,809
工具、器具及び備品	37,916	40,490
減価償却累計額	△31,352	△32,548
工具、器具及び備品 (純額)	6,563	7,941
土地	83,495	83,495
リース資産	11,258	11,258
減価償却累計額	△6,500	△8,226
リース資産 (純額)	4,757	3,031
有形固定資産合計	190,932	178,859
無形固定資産		
その他	12,043	7,083
無形固定資産合計	12,043	7,083
投資その他の資産		
投資有価証券	235,638	214,574
繰延税金資産	40,549	48,904
その他	90,326	85,932
投資その他の資産合計	366,514	349,411
固定資産合計	569,490	535,355
資産合計	2,230,224	2,167,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,536	201,247
短期借入金	200,000	200,000
リース債務	1,767	1,264
未払法人税等	31,056	781
その他	181,132	103,172
流動負債合計	618,493	506,465
固定負債		
長期借入金	—	100,000
リース債務	3,336	2,072
退職給付に係る負債	47,568	50,694
役員退職慰労引当金	52,614	63,134
資産除去債務	3,350	3,359
その他	3,521	3,425
固定負債合計	110,390	222,685
負債合計	728,884	729,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,937,037	1,878,628
自己株式	△657,398	△657,398
株主資本合計	1,501,495	1,443,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△337	△3,777
繰延ヘッジ損益	183	△1,151
その他の包括利益累計額合計	△154	△4,928
純資産合計	1,501,340	1,438,157
負債純資産合計	2,230,224	2,167,309

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
売上高	3,422,530	2,329,608
売上原価	2,302,216	1,589,932
売上総利益	1,120,313	739,676
販売費及び一般管理費	858,037	799,990
営業利益又は営業損失(△)	262,275	△60,314
営業外収益		
受取利息	6,209	6,148
受取配当金	5,988	5,884
助成金収入	2,000	43,997
保険戻戻金	25,983	11,562
その他	1,533	979
営業外収益合計	41,714	68,572
営業外費用		
支払利息	821	893
支払手数料	144	54
為替差損	2,253	9,932
その他	106	109
営業外費用合計	3,325	10,989
経常利益又は経常損失(△)	300,664	△2,730
特別利益		
固定資産売却益	8,498	—
特別利益合計	8,498	—
特別損失		
リース解約損	120	—
役員退職慰労金	4,819	300
固定資産除却損	189	0
特別損失合計	5,128	300
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	304,034	△3,030
法人税、住民税及び事業税	76,147	8,653
法人税等調整額	3,272	△6,248
法人税等合計	79,419	2,404
当期純利益又は当期純損失(△)	224,614	△5,435
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	224,614	△5,435

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	224,614	△5,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,843	△3,439
繰延ヘッジ損益	168	△1,334
その他の包括利益合計	4,012	△4,773
包括利益	228,627	△10,209
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	228,627	△10,209
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,210	121,646	1,760,102	△657,326	1,324,632
当期変動額					
剰余金の配当			△47,679		△47,679
親会社株主に帰属する当期純利益			224,614		224,614
自己株式の取得				△72	△72
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	176,935	△72	176,862
当期末残高	100,210	121,646	1,937,037	△657,398	1,501,495

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△4,181	14	△4,167	1,320,465
当期変動額				
剰余金の配当				△47,679
親会社株主に帰属する当期純利益				224,614
自己株式の取得				△72
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,843	168	4,012	4,012
当期変動額合計	3,843	168	4,012	180,875
当期末残高	△337	183	△154	1,501,340

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,210	121,646	1,937,037	△657,398	1,501,495
当期変動額					
剰余金の配当			△52,974		△52,974
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△5,435		△5,435
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△58,409	—	△58,409
当期末残高	100,210	121,646	1,878,628	△657,398	1,443,085

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△337	183	△154	1,501,340
当期変動額				
剰余金の配当				△52,974
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△5,435
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,439	△1,334	△4,773	△4,773
当期変動額合計	△3,439	△1,334	△4,773	△63,183
当期末残高	△3,777	△1,151	△4,928	1,438,157

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	304,034	△3,030
減価償却費	27,422	26,171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△398	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△33,674	10,520
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,469	3,126
受取利息及び受取配当金	△12,197	△12,033
支払利息	821	893
為替差損益(△は益)	4,276	6,310
保険返戻金	△25,983	△11,562
リース解約損	120	—
固定資産売却損益(△は益)	△8,498	—
固定資産除却損	189	0
売上債権の増減額(△は増加)	△107,756	515,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	132,970	△34,081
仕入債務の増減額(△は減少)	△373	△3,289
未払金の増減額(△は減少)	5	△17,601
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,459	△48,742
助成金収入	△2,000	△43,997
その他	14,527	△19,352
小計	322,476	368,785
利息及び配当金の受取額	11,997	11,832
利息の支払額	△771	△891
法人税等の支払額	△123,688	△63,395
助成金の受取額	2,000	33,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,014	350,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,286	△9,229
有形固定資産の売却による収入	9,350	—
無形固定資産の取得による支出	△550	—
投資有価証券の売却による収入	140	10,050
保険積立金の積立による支出	△19,983	△12,269
保険積立金の解約による収入	33,850	29,100
貸付けによる支出	△1,684	△73
貸付金の回収による収入	110	—
その他	4,135	△1,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,917	15,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	△72	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	—
配当金の支払額	△47,706	△53,000
リース債務の返済による支出	△1,782	△1,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,560	45,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	102,535	411,224
現金及び現金同等物の期首残高	236,368	338,904
現金及び現金同等物の期末残高	338,904	750,129

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に商品別の事業グループを置き、各グループは取り扱う商品・サービスについて、販売戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、当社の連結子会社1社は、それぞれの取り扱う商品・サービスについて、販売戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、当社の事業グループおよび連結子会社を基礎とした事業セグメントから構成されており、「エレクトロニクス事業」、「マリン・環境機器事業」、「S I 事業」および「サイエンス事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「エレクトロニクス事業」においては、主にパワー半導体製造プロセスの後工程で使用される製造装置を中心とした海外メーカー製エレクトロニクス機器、電子材料および当社製装置を販売しております。

「マリン・環境機器事業」においては、主に救命艇、小型船昇降装置および海外メーカー製船用クレーンなどの船用機器ならびに液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を販売しております。

「S I 事業」においては、主に計測・制御分野でのシステム・インテグレーションおよびプログラミングに関する教育サービスを提供しております。

「サイエンス事業」においては、主に海外メーカー製イメージング関連装置などの理化学機器、国内メーカー製計測機器および中古機器を販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	2,024,014	452,450	744,863	201,202	3,422,530
セグメント間の 内部売上高又は振替高	416	—	147	—	563
計	2,024,430	452,450	745,011	201,202	3,423,093
セグメント利益又は損失(△)	212,360	77,770	75,632	△1,930	363,832
セグメント資産	1,085,391	98,203	581,053	81,887	1,846,535
その他の項目					
減価償却費	16,120	557	8,372	1,421	26,472
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,234	△0	△816	△180	11,237

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,180,147	467,905	523,279	158,276	2,329,608
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	—	—	—	12
計	1,180,160	467,905	523,279	158,276	2,329,621
セグメント利益又は損失(△)	3,761	102,862	△71,213	7,830	43,241
セグメント資産	391,885	318,683	624,521	76,690	1,411,780
その他の項目					
減価償却費	13,498	388	9,977	1,516	25,381
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,892	—	7,337	—	9,229

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,423,093	2,329,621
セグメント間取引消去	△563	△12
連結財務諸表の売上高	3,422,530	2,329,608

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	363,832	43,241
全社費用(注)	△101,556	△103,555
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	262,275	△60,314

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,846,535	1,411,780
全社資産(注)	383,689	755,528
連結財務諸表の資産合計	2,230,224	2,167,309

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	26,472	25,381	949	790	27,422	26,171
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,237	9,229	—	—	11,237	9,229

(注) 1 減価償却費調整額は、主に管理部門の資産に係るものであります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門の設備投資額によるものであります。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり純資産額	850円22銭	814円44銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	127円20銭	△3円08銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	224,614	△5,435
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	224,614	△5,435
普通株式の期中平均株式数(株)	1,765,868	1,765,816

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,501,340	1,438,157
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,501,340	1,438,157
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	1,765,816	1,765,816

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 仕入、受注及び販売の状況

① 仕入実績

当連結会計年度における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	664,453	△29.0
マリン・環境機器事業	320,005	△0.7
S I 事業	—	—
サイエンス事業	128,039	△9.9
合計	1,112,499	△20.5

(注) 1 セグメント間取引については相殺消去しております。

2 金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当連結会計年度における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	1,403,281	△13.1	465,647	+92.0
マリン・環境機器事業	451,231	+9.9	465,680	△3.5
S I 事業	552,146	+9.6	221,777	+15.0
サイエンス事業	204,347	+11.4	55,458	+490.8
合計	2,611,006	△3.7	1,208,563	+30.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	1,180,147	△41.7
マリン・環境機器事業	467,905	+3.4
S I 事業	523,279	△29.7
サイエンス事業	158,276	△21.3
合計	2,329,608	△31.9

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。